

令和元年度

八百津町 河川水質調査報告書

八百津町 水道環境課

2020年2月

2019 年度河川水質調査報告

調査地点は、中山川 公民分館前水門 下流側、飯田川 中屋敷水管橋 上流側等 16 地点で調査を行い、地点調査項目ごとの平均値と前年度との変動グラフを添付して比較検討を行う。

調査日 1. 2019 年 4 月 22 日
2. 2019 年 11 月 6 日

調査場所	NO, 1	荒川	荒川橋 歩道橋	上流側
	NO, 2	荒川	五宝滝駐車場前	頭首工
	NO, 3	南宮川	東橋	下流側
	NO, 4	油皆洞川	油皆洞橋 歩道橋	下流側
	NO, 5	杣沢川	東部農村センター下	農道橋 上流側
	NO, 6	天王川	大洞川合流点 橋梁	下流側
	NO, 7	辛沢川	稻荷前 橋梁	下流側
	NO, 8	中山川	公民分館前水門	下流側
	NO, 9	飯田川	中屋敷水管橋	上流側
	NO, 10	天王川	天王橋	上流約 20m
	NO, 11	石川	石川橋	下流側
	NO, 12	下田川	下田 農道橋	下流側
	NO, 13	祝谷	薄野 水門	
	NO, 14	長曾川	追分橋	下流約 10m
	NO, 15	旅足川	水遊び場	下流約 10m
	NO, 16	名場居川	篠原 農道橋	下流側

1. 八百津町内の公共河川の環境基準

公共用水域が該当する水質汚濁に係る環境基準の水域類型の指定の中で、八百津町の公共河川の環境基準値は、木曾川中流のA類型に該当します。

水 域	該 当 類 型
木 曾 川 上 流 (落合ダムより上流)	A A
木 曾 川 中 流 (落合ダムより犬山頭首工まで)	A
八 百 津 町 河 川	A

A類型の基準値

水素イオン濃度 (pH)	pH=6.5～pH=8.5
生物化学的酸素要求量 (BOD)	2 mg/L 以下
浮遊物質 (SS)	25 mg/L 以下
溶存酸素 (DO)	7.5 mg/L 以上
大腸菌群数	1000MPN 以下

等となっています。

調査項目	1. 水素イオン濃度 (pH)
	2. 生物化学的酸素要求量 (BOD)
	3. 化学的酸素要求量 (COD)
	4. 浮遊物質 (SS)
	5. 溶存酸素 (DO)
	6. 全窒素 (T-N)
	7. 全磷 (T-P)
	8. 大腸菌群数

3. 結果の評価

- 1) 年間（年2回）の各項目の平均値を算出し、基準項目が水域類型の環境基準に適合しているか否かの評価を行い、調査地点の該当類型を表にした。

水 域 類 型	調 査 場 所
AA類型	該当なし
A 類型	NO, 3 南宮川 東橋 下流側 NO, 14 長曾川 迫分橋 下流約 10m
B 類型	NO, 1 荒川 荒川橋 歩道橋 上流側 NO, 2 荒川 五宝滝駐車場前 頭首工 NO, 5 杣沢川 東部農村センター下 農道橋 上流側 NO, 15 旅足川 水遊び場 下流約 10m
C 類型	NO, 4 油皆洞川 油皆洞橋 歩道橋 下流側 NO, 6 天王川 大洞川合流点 橋梁 下流側 NO, 7 辛沢川 稲荷前 橋梁 下流側 NO, 9 飯田川 中屋敷水管橋 上流側 NO, 10 天王川 天王橋 上流約 20m NO, 11 石川 石川橋 下流側 NO, 12 下田川 下田 農道橋 下流側 NO, 13 祝谷 薄野 水門 NO, 16 名場居川 篠原 農道橋 下流側
該当類型なし	NO, 8 中山川 公民分館前水門 下流側

2) 2018年度より環境濃度が改善された河川

なし。

3) 2018年度より環境濃度が横ばいであった河川

調 査 地 点	2018年度類型	2019年度類型
N0, 3 南宮川 東橋 下流側	A	A
N0, 5 杣沢川 東部農村センター下 農道橋 上流側	B	B
N0, 6 天王川 大洞川合流点 橋梁 下流側	C	C
N0, 9 飯田川 中屋敷水管橋 上流側	C	C
N0, 10 天王川 天王橋 上流約 20m	C	C
N0, 11 石川 石川橋 下流側	C	C
N0, 12 下田川 下田 農道橋 下流側	C	C
N0, 13 祝谷 薄野 水門	C	C
N0, 14 長曾川 追分橋 下流約 10m	A	A

9 調査地点で河川水の環境濃度に変化なし。

4) 2018年度より環境汚染が進んでいる河川

調 査 地 点	2018年度類型	2019年度類型
N0, 1 荒川 荒川橋 歩道橋 上流側	A	B
N0, 2 荒川 五宝滝駐車場前 頭首工	A	B
N0, 4 油皆洞川 油皆洞橋 歩道橋 下流	A	C
N0, 7 幸沢川 稻荷前 橋梁 下流側	B	C
N0, 8 中山川 公民分館前水門 下流側	C	該当類型なし
N0, 15 旅足川 水遊び場 下流約 10m	A	B
N0, 16 名場居川 篠原 農道橋 下流側	B	C

7 調査地点で河川水の環境汚染が進んでいた。

4. 考察

1) AA類型の河川水域はありませんでした。

2) A類型の河川水域は2調査地点でした。

「NO, 3 南宮川 東橋 下流側」、「NO, 14 長曾川 追分橋 下流約10m」、の2調査地点は昨年から変化はありませんでした。

3) B類型の河川水域は4調査地点でした。

「NO, 5 杣沢川 東部農村センター下 農道橋 上流側」の1調査地点は、昨年度から変化はありませんでした。

「NO, 1 荒川 荒川橋 歩道橋 上流側」、「NO, 2 荒川 五宝滝駐車場前 頭首工」、「NO, 15 旅足川 水遊び場 下流約10m」の3調査地点で大腸菌群数の増加によりA類型からB類型に悪化しました。

4調査地点とも大腸菌群数が改善されればA類型やAA類型になります。大腸菌群数は降雨量や天候の他に、生活排水等の混入が原因で増加します。

4) C類型の河川水域は9調査地点でした。

「NO, 6 天王川 大洞川合流点 橋梁 下流側」、「NO, 9 飯田川 中屋敷水管橋 上流側」、「NO, 10 天王川 天王橋 上流約20m」、「NO, 11 石川 石川橋 下流側」、「NO, 12 下田川 下田 農道橋 下流側」、「NO, 13 祝谷 薄野 水門」の6調査地点で、昨年度から変化はありませんでした。

「NO, 4 油皆洞川 油皆洞橋 歩道橋 下流」、「NO, 7 辛沢川 稻荷前 橋梁 下流側」、「NO, 16 名場居川 篠原 農道橋 下流側」の3調査地点で大腸菌群数の増加によりA類型又はB類型からC類型に悪化しました。

9調査地点とも大腸菌群数が改善されればB類型、A類型、AA類型になります。

5) D類型の河川水域はありませんでした。

6) 「NO, 8 中山川 公民分館前水門 下流側」については水素イオン濃度 (pH) が類型判定の範囲を外れるため該当する類型がありません。

2019年度の調査では、環境濃度が改善された調査地点はなく、9調査地点で環境濃度の変化は見られませんでした。また、7調査地点で環境濃度が悪化しました。

すべての調査地点とも大腸菌群数が減少し、「NO, 8 中山川 公民分館前水門 下流側」は水素イオン濃度 (pH) が改善すれば環境濃度が改善します。